



無所属・無党派

さいたま市議会議員

# 川村 準

## 市議会レポート

じゅん

5月号

〒336-0017

南区南浦和1-27-11-107

携帯 090-1404-2151

junkawamura1923@gmail.com

# 自転車レース、来場者増えずも

## 補助金減らさず無駄を継続か

さいたま市は交流人口（市内に遊びに来る人）を増やすため、自転車レース・クリテリウムを開催していますが来場者数は横ばいです。議会では2019年以降は市主体でなく民間へ移行を求める決議が通過しました。しかし、市は補助金の減額に関し明言を避け続けています。

### 議会は「民間移行」求める

現在の清水市政は、自転車レース・クリテリウムや芸術祭などの開催で、交流人口を増やすことを狙っています。しかし、クリテリウムは2013年から毎年開催していますが、来場者数は減少あるいは横ばい傾向で10万人前後から

現在の清水市政は、**増える気配がありません。**

市議会でも、クリテリウムの抜本的な改善を求め、2019年以降を目途にクリテリウムを民間移行する決議が可決されています。

そこで、3月13日の予算委員会で質問しました。

川村準「クリテリウムの実施主体が民間になったとしても、補助金額が一緒であれば民間移行の意味がない。仮に補助金をゼロにするのが無理でも、シティ

### 交流人口増はサッカーで

さて、クリテリウムや芸術祭以外の私の代替案ですが、それは浦和の伝統である「文教都市」と「サッカー」です。今住んでいる人の満足度向上や定住人口増のため、図書館の開館時間の延長はじめ「文教都市」の深化を図る。そして、交流人口の増加は「サッカー」です。例えば、先の質問に出た「シティ

カップと同じ4千万円と同額レベルにすべきだと思うが、民間移行の定義はそれでよいか」  
高橋副市長「民間移行後の補助金額の上限については、現段階では断言できない」

が、入場料がかかるにもかかわらず、来場者数は約5万9千人（2007年）など好評でした。

一方で、クリテリウムは市の予算が約3億円で、観戦料が無料にもかかわらず来場者数は10万人前後であり、シティカップの方が費用対効果が高いことが分かります。

今後、私は「文教都市」と「サッカー」を軸に市民のため、頑張ります。